

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)松原泉佐野南店新築工事	階数	地上1F
建設地	大阪府泉佐野市南中安松	構造	S造
用途地域	準工業地域・防火地域指定なし	平均居住人員	273 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2025年9月30日
敷地面積	8,826 m ²	作成者	芝本 好司
建築面積	2,762 m ²	確認日	2025年10月10日
延床面積	2,734 m ²	確認者	桑原 太郎

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 </p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p></p> <p>30% ★★★★★ 60% ★★★★ 80% ★★★ 100% ★★ 100%超: ★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したもので</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)
Q 環境品質
Q1 室内環境
Q1のスコア = 2.8
5 4 3 2 1 音環境 3.0 温熱環境 1.9 光・視環境 3.5 空気質環境 3.2
Q2 サービス性能
Q2のスコア = 2.9
5 4 3 2 1 機能性 2.7 耐用性 2.8 対応性 3.4
Q3 室外環境 (敷地内)
Q3のスコア = 1.7
5 4 3 2 1 生物環境 1.0 まちなみ 2.0 地域性 2.0
LR 環境負荷低減性
LR1 エネルギー
LR1のスコア = 4.1
5 4 3 2 1 建物外皮の 3.4 自然エネ 4.0 設備シス 5.0 効率的 3.0
LR2 資源・マテリアル
LR2のスコア = 3.2
5 4 3 2 1 水資源 3.4 非再生材料の 3.1 汚染物質 3.7
LR3 敷地外環境
LR3のスコア = 3.7
5 4 3 2 1 地球温暖化 5.0 地域環境 3.3 周辺環境 3.0

3 設計上の配慮事項			
総合			その他
利用者に配慮し、F★★★★★を使用している。 ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。			特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
そして、JIS・JAS規格のF★★★★★をほぼ全面的に採用している。 また、建築物衛生法を満たす換気量の1.2倍となっている。	階高:3.9m以上。 そして、0.1≤[壁長さ比率] <0.3。	特になし。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
BPIm=0.94。 そして、トップライトを使用している。 また、BElm=0.38。	節水栓などに加えて、節水型便器も採用している。 そして、LGS使用している。 また、発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	ライフサイクルCO2排出率43%。 そして、燃焼機器を使用していない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存 2024V1.4

【建物概要】 建物名称		(仮称)松源泉佐野南店新築工事				
建設地		大阪府泉佐野市南中安松				
用途／区分		事務所				
【評価結果】	CASBEE 総合評価				B+	
①	CO2削減				5	
②	みどり・ヒート アイランド対策				2	
③	断熱性能				3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
④	エネルギー消費性能				5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外			評価対象外
	非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分				6	
⑤	自然エネルギー直接利用					
	再生可能エネルギー	太陽光発電	○	風力	—	地熱
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス
	エネルギー消費量の報告					報告しない
【評価項目】						
項目	評価内容					スコア
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮					5.0
② みどり・ヒートアイランド対策						5
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出					1.0
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2.2 温熱環境悪化の改善					3.0
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制					3.4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化					5.0
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用					4.0
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない
その他						
先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項	ライフサイクルCO2排出率43%。 BPIm=0.94、BEIm=0.38。 トップライトを使用している。					